

今月の一言

キーワード： 道（その2） どんな人間の前にも「道」はある

道は誰にも行い得られるものである。

人にはみな道を行うに足るだけの力がある。

ただその力と道とに大小の差があるに過ぎぬ。

渋沢栄一：一訓言集「道徳と功利」

現代の言葉では

道は、誰の前にも拓けている。人は皆、その道を歩く力がある。ただ、その“力”と“道”の大きさ、強さが、一人ひとり、違っているに過ぎない。

凡人でも、偉人であっても、それぞれに自分の進むべき「道」があって、それを歩いていく旅人であるという点では、まったく同じ立場にあります。その「道」は王道のように、広大で輝かしいものなのか。それともクネクネ曲がった険しい山道なのか。たどり着く先は、最後までわからないのか。それとも、今から目指して歩いて行けるものなのか。それは、誰にもわかりません。

ただ、確かなことが一つだけあります。あなたが歩くその「道」は、あなただけにしか拓けない、たった一つの道であること。そしてそれを、あなただけの力で歩かねばならないこと。どんな道でも、誇りを持って進もう。

道は、永遠に続いています。

その道は、自分で歩き続ける人にしか見えない！

歩いた跡には、歴史が・・・ これからの道は、夢の実現が・・・

過去は変えられないが、未来は変えられる！

2013年1月25日

さいのう とおる

追伸：最近、事故が多くなっていますので十分注意して下さい。